

技術協力事業におけるマルチ・バイ協力評価 評価グリッド（１／２）

J：日本、M：国連機関、R：相手国

評価対象	評価手段	評価項目	評価内容	調査細目	評価のための情報源						備考
					外務省	JICA	相手国	UNICEF	UNFPA	WHO	
I. M/B 協力の理論	J:開発体系図	理論の妥当性									
		M/B 協力の背景にある理論・考え方は妥当であったか	M/B 協力の意義、定義、目標の明確化	M/B 協力の目的は何か 日本、相手国、国連機関の各役割は明確か	D,H,Q	H,Q	H,Q	H,Q	H,Q	H,Q	D:国連機関との合意文書、議事録
			J:日本の ODA 政策との整合性 1) ODA 大綱との整合性	ODA 大綱にある「基本理念」、「原則」、「重点分野」などと整合性が取れているか	D						D:ODA 大綱、国連機関との合意文書
			2) ODA 中期政策との整合性	ODA 中期政策の「基本的考え方」、「重点課題」、「地域別援助のあり方」などと整合性がとれているか	D						D:ODA 中期政策 GII、プロ形
			3) 他スキームとの比較優位性の検討	バイ協力、マルチ協力と比較して M/B 協力のメリットは何か	H,Q	H,Q	H,Q	H,Q	H,Q	H,Q	外務省は大使館、JICA は現地事務所
			R:開発計画にあるニーズ、優先度との整合性	上位計画に M/B 協力が含まれているか			H,Q,D				D:保健医療政策、PRSP、EPI 国家 5 ヶ年計画等
			M:国連機関上位政策との整合性	M/B 協力が国連機関のカントリープログラム目標の方向に向いているか				H,Q,D	H,Q,D		D:カントリープログラム
			世界的潮流との整合性	M/B 協力が世界の潮流に乗っているか			H	H	H	H,D	D:WHO 開発戦略 H:他国ドナー大使館等を含む
II. M/B 協力のプロセス	実施フロー図	策定過程の妥当性									
		協力策定過程は妥当であったか	1) M/B 協力策定に関わる組織・人材の適正さ	M/B 協力策定に国連機関がどの程度関わったか	H	H	H	H	H	H	
			2) J、R および M との政策対話	案件形成時に J,R,M 間で十分な協議が行われたか	H,Q,D	H,Q	H,Q	H,Q	H,Q	H,Q	D:年次協議議事録
			3) 相手国のマクロ指標やニーズの変化に対応した政策の見直しの有無	M/B 協力に対するモニタリング評価は行われているか	H	H,D	H	H	H	H	D:案件別評価報告書、国別援助実施計画
		実施の効率性									
		M/B 協力実施過程は効率的であったか	1) 供与機材の種類・投入量は妥当であったか	要請資機材内容、調達実績			H	H	H		
			2) 適切なプロセスが取られていたか（指導状況）	要請書の作成・提出	Q,H	Q,H	Q,H	Q,H	Q,H	H	外務省は大使館 D:A4 フォーム、実施計画書
				資機材の調達・輸送状況	Q,H	Q,H	Q,H	Q,H	Q,H	H	
				資機材の配送・配布状況 機材の据付はどこの担当か	Q,H	Q,H	Q,H	Q,H	Q,H	H	税関手続き含む
				資機材の保管状況	Q,H	Q,H,O	Q,H	Q,H	Q,H	H	

Q：質問票、H：ヒアリング、O：現地調査、D：資料収集

技術協力事業におけるマルチ・バイ協力評価 評価グリッド（2／2）

J：日本、M：国連機関、R：相手国

評価対象	評価手段	評価項目	評価内容	調査細目	評価のための情報源						備考
					外務省	JICA	相手国	UNICEF	UNFPA	WHO	
				資機材の活用状況			O	O	O		
				モニタリング実施状況 機材メンテナンスの状況	Q,H	Q,H	Q,H,O	Q,H	Q,H	H	
				3) 他のバイ、マルチの協力との重複はないか		H	H,D	H	H		D:機材調達実績表
				4) 他ドナーとの無駄な重複を避け、強調を促進するためのプロセスが取られていたか		H	H	H	H	H	H:他国ドナー大使館等を含む
III. M/B 協力の効果		有効性									
		➤ 目標達成度 設定した目標は達成できているか	1) 協力実績	UNICEF:協力実績（額、内容）の推移、予防接種数		H,D	H,Q,D	H,Q,D			D:実施計画書、協力実績表
				UNFPA:協力実績（額、内容）の推移		H,D	H,Q,D		H,Q,D		D:実施計画書、協力実績表
			2) 最終裨益者にサービスおよび資機材が届いているか	ヘルスポスト等での資機材の利用状況		H	H,O	H	H		
		インパクト									
		社会指標の推移	R:保健政策目標	保健省:保健医療5ヵ年計画、国家人口家族計画、母子保健計画指標、各種統計資料（全人口、各種感染症罹患率・死亡率、乳児死亡率、5歳未満児死亡率、HIV/AIDS 成人感染率）、各推移			H,D,O				D:保健医療政策指標、統計資料
				UNICEF: EPI 5ヵ年計画指標、各種感染症罹患率・死亡率、EPI カバー率				H,D		H,D	D:EPI 5ヵ年計画、アセスメント報告書
				UNFPA:合計特殊出生率、妊産婦死亡率、何らかの避妊実行率（伝統的手法／近代的手法）、粗出生率					H,D		D:アセスメント報告書
			M:カントリープログラム目標での達成度合い	UNICEF :カントリープログラム指標の推移				H,Q,D		H,D	D:カントリープログラム指標、統計資料
				UNFPA :カントリープログラム指標の推移					H,Q,D		D:カントリープログラム指標、統計資料
			相手国への上位目標、社会経済、環境等への波及的影響	R:当該国の保健・医療該当政策への影響はあるか	保健省のキャパシティ・ビルディングの向上に貢献したか 環境に負の影響を及ぼしていないか			H,O			
		我が国の政策への波及的影響	J:上位政策、他の援助スキームへの影響はあるか	他スキームの効果・効率を上げるために役立っているか、NGO との連携に影響があるか 国連機関との技術・経験の交流はあるか	H	H	H,O				NGO 視察
				技術的交流、援助実施プロセスの簡略化、合理化への貢献				H	H	H	
		自立発展性									
		相手国の自立発展に寄与しているか	R:相手国の政策立案能力、予算	ワクチン接種、人口家族計画事業の予算の確保、実施体制の強化はされているか			H,D,O				D:保健省予算推移、事業計画
			R:現地関係者の能力向上	調達からサービスまでの各レベルでの業務（運営能力、技術力）が適切に行われているか	Q	H,Q	H,Q,O	H,Q	H,Q	Q	

Q：質問票、H：ヒアリング、O：現地調査、D：資料収集